

浜 中

学校要覧

令和2年度



教育目標

地域に誇りをもち、自分の人生を自ら切り開くことができる確かな学力と、多様な人々と交流し、豊かな人間関係を築くことの出来る児童・生徒の育成を目指し、浜川小学校、鮫浜小学校、浜川中学校は、次の教育目標を掲げる。

- 自ら学び、表現できる児童・生徒の育成
- 心を磨き、ルールを守る児童・生徒の育成
- 豊かな人間関係を築くことができる児童・生徒の育成
- 体を鍛え、健康でたくましく生き抜く児童・生徒の育成

品川区立浜川中学校

自閉症・情緒障害特別支援学級併設校

〒140-0011 東京都品川区東大井3丁目18番34号

電話 03(3761)1014(代表) FAX 03(3761)3956

相談学級直通 03(3761)5011

ホームページ：<http://www1.cts.ne.jp/~hamaj/>

交通 JR京浜東北線 大井町駅 下車徒歩11分

京浜急行線 立会川駅 下車徒歩5分

1 本校の沿革と歴代校長

- 昭和22. 4. 1 設立許可
- 22. 5. 1 開校式及び入学式挙行
- 22. 6. 6 校章制定
- 23. 3. 25 第1回卒業式（卒業生26名）
- 24. 4. 15 生徒会発足
- 24. 6. 18 校地拡張実現
- 26. 5. 1 従来の後援会をPTAに名称変更
（初代会長 平田栄司）
- 26. 5. 10 校旗制定（平田会長より寄贈）
- 27. 7. 15 学校図書館落成
- 28. 4. 6 東京都品川区立鈴ヶ森中学校、本校の分校として開校、
本校内にて授業開始
- 28. 8. 29 鈴ヶ森中学校新校舎に移転
- 29. 1. 18 特殊学級中学部一学級設置
- 30. 9. 23 校歌制定発表
- 35. 9. 17 体育館建築工事完了
- 38. 6. 5 新校舎落成式
- 41. 10. 28 開校20周年記念式典挙行
- 44. 10. 15 交通安全優良校として区長賞を受ける
- 45. 2. 5 環境美化にて都知事賞を受ける
- 52. 5. 21 開校30周年記念式典挙行
- 57. 3. 3 体育館改築落成式
- 57. 3. 24 プール完成
- 62. 11. 24 開校40周年記念式典挙行
- 平成 9. 10. 25 開校50周年記念式典挙行
- 19. 11. 10 開校60周年記念式典挙行
- 20. 3. 19 浜川小とともに品川区教育委員会研究校（小中一貫教育）の指定を受ける
- 22. 1. 22 浜川小とともに品川区教育委員会研究学校としての研究発表を行う
- 22. 3. 31 特別支援学級閉級
- 22. 4. 1 相談学級閉級
- 24. 2. 28 平成23年度しながわ環境大賞 環境賞受賞
- 30. 4. 1 自閉症・情緒障害特別支援学級閉級
- 令和 2. 3. 31 相談学級閉級

歴代校長			
1	昭和22年～	森村豊馬	村野利三
2	30年～	吉野敏	大八木
3	36年～	高橋	高村
4	39年～	高村	高村
5	42年～	高村	高村
6	47年～	近藤	近藤
7	50年～	松岡	松岡
8	54年～	三森	三森
9	58年～	十東	十東
10	61年～	指田	指田
11	平成元年～	清水	清水
12	4年～	桃井	桃井
13	9年～	高垣	高垣
14	14年～	権藤	権藤
15	18年～	山田	山田
16	22年～	米塚	米塚
17	令和元年～	堀井	堀井

2 一貫教育目標を達成するための基本的方策

（4校とは浜川中学校、浜川小学校、鮫浜小学校、立会小学校をいう）

- ①一貫教育を推進していくための方策と組織体制について
 - 浜川小学校、鮫浜小学校、立会小学校の校区教育協働委員会と密接に連携し、9年間の義務教育を見通しながら学校運営の基本方針の承認、学校支援活動の企画調整を行い、一貫教育を推進する。それぞれの学校に学識経験者を置くことで学校評価活動を充実させ、カリキュラム・マネジメントにつなげていく。小中一貫経営会議（校長、副校長）、四校連絡推進会議（教務、研究主任、必要に応じた主任）、生活指導連絡会（生活指導主任）などを設置して企画、運営、進行管理を行う。（経営会議、連絡会ともに学期に1回程度必要に応じて実施する。）
 - 浜川小学校、鮫浜小学校、立会小学校の第6学年の「中学校体験」を浜川中学校で実施する。中学校の教室等を使用して、中学校教諭による授業や中学校生活のガイダンスを通して、中学校の雰囲気慣れ、中学校生活へのイメージをもたせることで、中学校生活への円滑な接続を図る。
 - 中学校における学習指導・生活指導上の課題を小学校にきちんと伝え、その解決に向けた取組が連携小学校においても実施できるよう「品川教育の日」、合同研修会などを利用して情報提供、意見交換を行う。特に7年生への進級時は、双方の情報交換を綿密に行い、中学校生活への円滑な接続を図る。
 - 生活指導部（部活動担当）を中心に小中連携部活動の推進を図る。浜川小学校、鮫浜小学校、立会小学校の5、6年生を対象に募集して定期的に活動し、新入学後の各種部活動への円滑な接続を図る。
- ②地域との連携、地域人材の活用について
 - 「品川コミュニティ・スクール」として浜川中学校区（浜川中学校、浜川小学校、鮫浜小学校）の「校区教育協働委員会」の結び付きを強め、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進する。また、三校の学校地域コーディネーター、管理職で運営委員会を開催し、校区教育協働委員会が計画的、効果的に運営できるよう進めていく。
 - 学校地域支援本部の学校地域コーディネーターを中心に学校の様々な要望を集約し、ボランティアやゲストティーチャーとの調整を図りながら、計画的に支援活動を実践していく。
 - 校区教育協働委員、小中学校の教員がそれぞれの教育観、指導観について相互理解を深められるよう、学校地域コーディネーターを中心にテーマを決めてグループごとに熟議を行う。（夏季休業中に実施）
 - 「はまりょうサポーターズ通信」を学校支援地域本部で作成し、コミュニティ・スクールの意義や具体的実践内容について保護者や地域への周知、理解を図り、支援活動の活性化につなげる。
 - 学校地域コーディネーターと連携しながら、放課後の学習支援活動の充実を図る。放課後に図書室などを開放してボランティアによる学習支援員を配置し、自学自習に取り組ませる。タブレットパソコンなども活用しながら、課題となっている学習習慣の定着と、個に応じた学力向上支援の強化につなげていく。

- 地域に根ざした中学校として、地域ボランティア活動の活性化を図り、地域と連携しながら、責任感、自己肯定感の育成に努める。地区委員会主催による子どもカーニバル、区民まつり（7月）、子どもフェスティバル（2月）、地域連合町会主催による運動会（10月）などに係りスタッフとして参加させ、地域貢献の精神を育てる。
 - 保護者、地域、関係機関との連携の下、「災害時、中学生に何が出来るか」をテーマに全校生徒による防災訓練を実施し、災害時の危機意識を高め、自覚を育てるとともに、具体的な行動に向けての技能向上を図る。
 - 地域への誇りと愛着が持てる生徒の育成を目指し、7学年で地域講師を招いて坂本龍馬講演会とフィールドワークを実施する。坂本龍馬の生き方を通して、自ら「高い志」をもとうとする意識を向上させる。
 - 東大井児童センターと連携し、9年生で「赤ちゃんふれあい事業」を実施する。中学生が乳児とふれあう体験を通して、子育ての喜びや命の尊さ、家族の絆について学びとらせる。母親とも交流し、赤ちゃん誕生が周囲に喜びを与えたことや一人一人がかけがえのない存在であることを知り、自己肯定感につなげていく。
 - 毎月、「あいさつの日」を設定し、地域町会、地区委員、保護者に呼びかけて朝の登校時間に通学路などに立ってもらい、児童生徒のあいさつ実践の場として啓発し、基本的習慣としてのあいさつを身に付けさせる。
- ③特色ある教育活動の内容及び推進するための方法・組織体制
- コミュニケーション能力の育成、向上を図る教育活動に重点的に取り組む。生活指導部を中心にコミュニケーションの基本となるあいさつと言葉づかいについて重点化し、あいさつ運動、人権に配慮した正しい言葉づかいの指導に取り組む。発達段階に応じた指導を徹底する。また、浜川中学校区の一貫教育の柱として小中の生活指導連絡会で達成状況を検証し、改善へとつなげていく。
 - コミュニケーション能力の中核となる発信力・傾聴力の育成を図るため、自己の進路目標について決意を發表する「志を發表する会」（8年生）多様なテーマで自分の意見や考えをまとめ、主張を發表する「主張發表大会」（7、9年生）を各学年単位で開催する。生徒による相互評価、教員による審査などを通して決めた各学年の代表者には学習發表会、外部大会（子どもの主張發表大会、中学生主張發表大会）で發表させる。
 - 異年齢との多様な人間関係を通してコミュニケーション能力向上を図るため、地域ボランティア活動に積極的に取り組ませる。生徒会のボランティア推進委員会、音楽部の吹奏楽演奏など地域の幅広いニーズに応えるとともに、誰かの役に立つという体験を通して自己肯定感の育成につなげていく。
 - 地域、保護者、学校をつなぐ行事として「浜川祭」を実施する。コミュニティ・スクールの校区教育協働委員、学校支援コーディネーター、PTA役員、各町会役員、教職員を含めた実行委員会を組織し、生徒会ボランティア委員会と連携しながら企画、運営していく。警察署、消防署にも協力を仰ぎ、中学生はボランティアで未就学児や小学生に楽しんでもらう内容を企画し、卒業生などにも呼びかけながら地域全体の絆を深める行事として実施する。
 - 世代間交流を深めながら論理的思考力、コミュニケーション能力を育成し、相互に理解と学びが深められることを目的として「しゃべり場」を開催する。「スマホのルール作り」、「地域防災について」、「浜川中の伝統・良いところ」など共通のテーマを決め、生徒、保護者、地域の方々があつになったグループを編成してグループ討議を実施する。
 - 体力向上に主体的に取り組む生徒の育成を目指し、品川アクティブライフプロジェクトを積極的に推進させていく。体育科授業ではチーム・ティーチングを導入し、きめ細かな助言、支援を行いながら運動技能、体力の向上につなげていく。スポーツトライアルへのチャレンジやワンミニッツエクササイズの啓発などを通して運動習慣の定着を目指す。テクニカルアドバイザーの派遣事業を活用し、専門家の指導、助言を仰ぎながら運動への意欲を高めていく。
 - ICT教育推進校としてICT機器を積極的に活用した教育活動を推進させる。情報教育推進委員会を中心に各教科の授業はもちろん家庭学習や校外学習にタブレットパソコンを活用し、基礎学力の定着、コミュニケーション能力育成などそれぞれの活動目的を明確にしながらか教育内容の質的向上につなげていく。
 - 生徒実行委員会を中心とした学校行事、生徒会役員会、専門委員会を中心とした生徒会活動に力を入れ、生徒が主体的、自治的に取り組む活動の充実を図る。各種学校行事運営、いじめ防止運動、あいさつ運動、マナーアップ運動、各種ボランティア活動に加えて、地域町会との連携活動にも力を入れて取り組む。
 - 土佐藩土下屋敷跡に立地している縁で、高知県地産外商公社の協力を得て、9年生で「食育授業」を実施する。土佐分担や宗田鯉の鯉節、生産量日本一の野菜など、高知県の特産品について体験的に学びながら理解を深める。
 - 読書活動の充実を図るために「朝読書」の時間を設定する。読書目標として一人年間20冊以上を指標に読書カードに記録させる。読書感想文コンクール、ビブリオ・バトル（12月）、読書週間（毎学期）、図書館だよりの発行などに取り組みながら学校図書館の活用を図る。また、図書館運営スタッフと連携し、調べ学習などで学習テーマに即した図書を準備するなど、公立図書館とのネットワークを生かして、学校図書館の活用を図る。貸出冊数に関しては、年間で3000冊以上となるよう利用促進を図る。
 - 70周年メモリアルイヤーに取り組む始めた和太鼓演奏を継承し、新たな伝統につなげられるような体制を整える。運動会や浜川祭り、地域行事など様々な活躍の場面を用意しながら活性化を図り、達成感、自己肯定感の育成につなげていく。
- ④教員の指導力向上のための取組について
- 情報教育推進委員会、研究推進委員会を中心に、ICT機器を活用した指導力向上に取り組む。教員の活用スキルを向上させるとともに、各教科、家庭学習、校外学習など様々な場面での活用実践を通して、ICT機器の効果的な活用方法について検証していく。各教科の授業については、全教員がICT機器を活用した研究授業を実践し、学習課題の明確化、興味・関心を高めるための工夫、わかりやすく説明したり思考を深めたりする提示方法、知識の定着を図るための活用などについて検証する。
 - 浜川中学校区として連携している鯉浜小学校、浜川小学校、立会小学校と四校研修会を開催し、四校の教員が9年間の義務教育全体を見通しながら学習指導・生活指導の課題を共有できるようにそれぞれの学校の実態について情報提供する。小中教員合同の分科会で課題解決に向けての意見交換を行い、小中の発達段階での指導改善につなげる。
 - 朝読書、朝の会、給食、帰りの会、清掃活動など、担任と副担任が協働で学級指導にあたり、相互に持ち味を發揮しながらOJTを推進させ、学年・学級経営の充実を図る。

③ 年間授業時数と時程表

年間授業時数配当表

学 年		7 年	8 年	9 年	
各 教 科	必 修 教 科	国 語	140	140	105
		社 会	105	105	140
		数 学	140	105	140
		理 科	105	140	140
		音 楽	45	35	35
		美 術	45	35	35
		保 健 体 育	105	105	105
		技 術 ・ 家 庭	70	70	35
		外 国 語 (英 語)	140	140	140
		小 計	895	875	875
ステップアップ学習		35	70	70	
市 民 科 学 習		120	105	105	
総 計		1050	1050	1050	

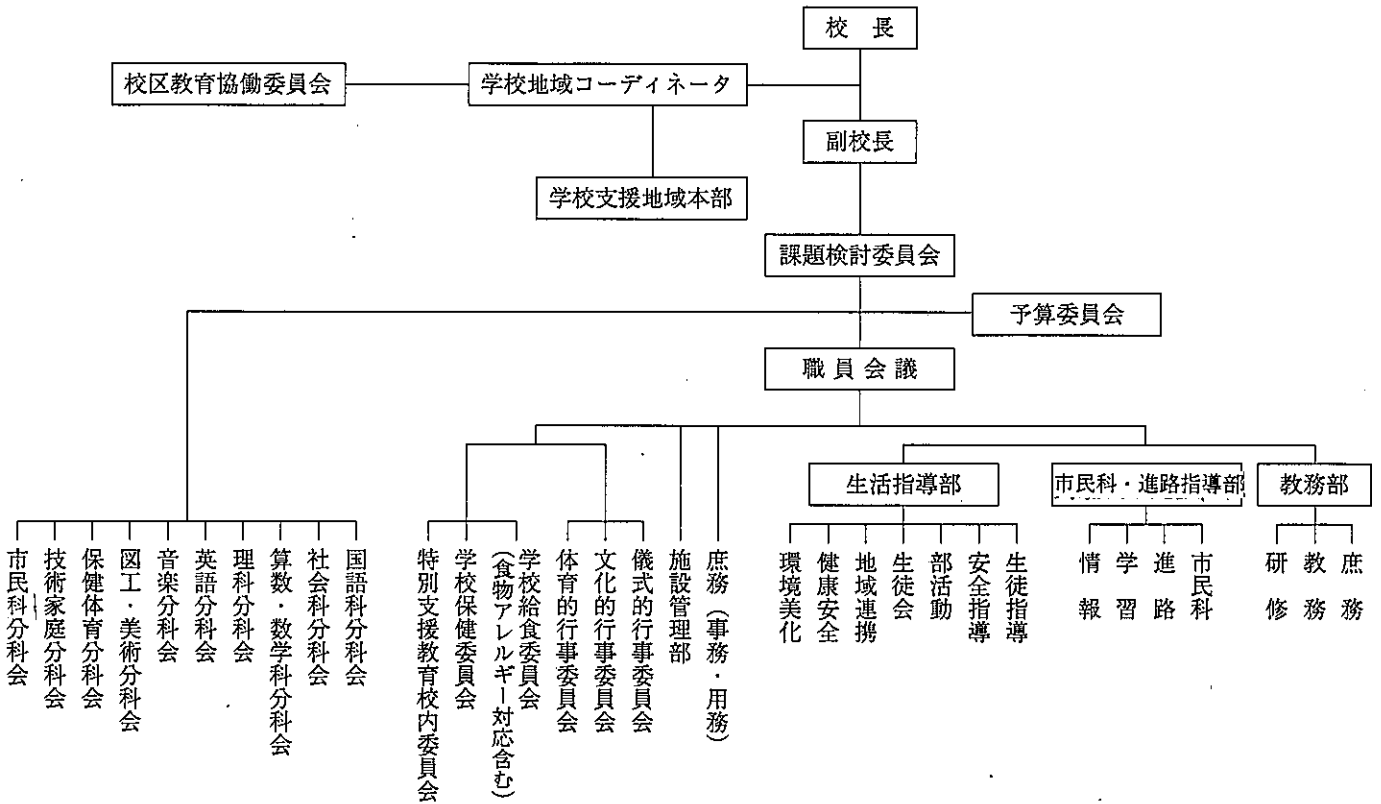
時程表

職 員 打 合 せ		8:10~ 8:15
予 鈴		8:15
読 書 活 動		8:20~ 8:30
学 級 活 動		8:30~ 8:35
1	校 時	8:45~ 9:35
2	校 時	9:45~10:35
3	校 時	10:45~11:35
4	校 時	11:45~12:35
給 食		12:35~13:05
昼 休 み		13:05~13:30
5	校 時	13:35~14:25
6	校 時	14:35~15:25
学活 清掃	月 火 木 金	15:25~15:40
	水	14:25~14:45
	土	11:35~
下校 時刻	月 火 木 金	15:40
	水	14:45
	土	11:55
	午 前 授 業	13:25

④ 年間行事予定 ※新型コロナウイルス感染防止のため変更あり

4 月	始業式・入学式・対面式・保護者会 任命式・離任式・健康診断始 9年全国学力学習状況調査・7年社会科見学 家庭訪問・区学力定着度検査・セーフティ教室	10 月	品川区連合体育大会 学校公開週間・学習発表会（舞台部門） 学校説明会・小中連合音楽会 市民科地区公開講座・学校公開週間
5 月	開校記念日 生徒総会・学校公開週間 8年音楽鑑賞教室・8年ファイナンスパーク 9年修学旅行	11 月	9年抽出面談 7年龍馬講演会・第3回定期考査
6 月	運動会・教育実習・8年社会科見学 第1回定期考査	12 月	三者面談（全学年） 7年お肉の情報館見学・保護者会・終業式 区内一斉防災訓練・ビブリオバトル本戦
7 月	7年移動教室 8年都学力向上調査 保護者会・終業式	1 月	始業式・9年高校入学試験始 小中連合作品展・学校公開週間
夏季休業	三者面談 夏期学習教室 8年生夏期集中講座	2 月	学習発表会（展示部門）・学校公開週間 新入生保護者説明会 都立高校学力検査 第4回定期考査
9 月	始業式・8年職業体験 生徒会役員選挙・任命式 浜川まつり・第2回定期考査	3 月	9年生を送る会・9年卒業遠足 卒業式・保護者会・修了式
他	<ul style="list-style-type: none"> ・第1・第3土曜日は午前授業になります。 ・避難訓練（毎月）・美化コンクール（毎学期）・地域ボランティア活動参加・一貫教育に関する行事・校内研修会などが入ります。 		

5 教職員組織



職名	氏名	担当	教科	校務分掌	職名	氏名	担当	教科	校務分掌
校長	堀井昭宏	経営	経営	経営	主任教諭	近藤裕美	9年	英語	生活指導部 学年主任
副校長	山本純	7年A組	経営	生活指導部	主任教諭	大森本村裕	9年	美術	教務部
主任教諭	山本純	7年B組	数学	生活指導部	主任教諭	中藤裕一	特別支援教室	数	進路指導部
教諭	山本純	7年C組	英語	市民科・進路指導部	主任教諭	佐藤濃	特別支援教室	社	講義部・教育相談
主幹教諭	山本純	7年	理	進路指導部	教諭	佐美濃	特別支援教室	理	生活指導部
教諭	山本純	7年	国語	進路指導部	教諭	美小智	特別支援教室	国	教務部
主任教諭	山本純	7年	養護	生活指導部	教諭	小河野	特別支援教室	英	教務部
主任教諭	山本純	7年	学	生活指導部	教諭	小五野	特別支援教室	社	生活指導部
主任教諭	山本純	8年A組	英	教務部	主任教諭	五峯和歌	特別支援教室	会	進路指導部
教諭	山本純	8年B組	社	進路指導部	主任教諭	五峯和歌	特別支援教室	保	進路指導部
主任教諭	山本純	8年C組	健	生活指導部	主任教諭	五峯和歌	特別支援教室	健	進路指導部
主任教諭	山本純	8年	体	進路指導部	主任教諭	五峯和歌	特別支援教室	数	進路指導部
主任教諭	山本純	8年	育	進路指導部	主任教諭	五峯和歌	特別支援教室	学	進路指導部
主任教諭	山本純	8年	国	進路指導部	主任教諭	五峯和歌	特別支援教室	数	進路指導部
主任教諭	山本純	8年	語	進路指導部	主任教諭	五峯和歌	特別支援教室	理	進路指導部
主任教諭	山本純	9年A組	社	進路指導部	主任教諭	五峯和歌	特別支援教室	英	進路指導部
教諭	山本純	9年B組	音	教務部	主任教諭	五峯和歌	特別支援教室	数	教務部
教諭	山本純	9年C組	理	生活指導部	主任教諭	五峯和歌	特別支援教室	学	教務部

職名	氏名	担当	職名	氏名	担当
主任主事	菊地孝	事務	特別支援	朝倉江	特別支援
主事(非常勤)	中山章	事務	支援	倉島未	学校支援
主事	本木光	務	学校	谷有美	学校図書
主事(非常勤)	會澤勝	務	図書	藤典子	教育相談
教諭	澤島淳	務	室	佐藤詩	教育相談
都講師	小野昭	地域支援本部	校医	鈴木秀	内科
都講師	橋本彦	保健体育	校医	室本圭	眼科
都講師	篠瑞好	保健体育	校医	久納川	耳鼻科
都講師	笹熊美	保健体育	校医	古納川	歯科
都講師	松谷聖	家庭	施設管理員	表勝昭	施設管理
都講師	阿部美	国語	施設管理員	濱守	施設管理
区講師	森の帆	美術	施設管理員	野村和	施設管理
		学			

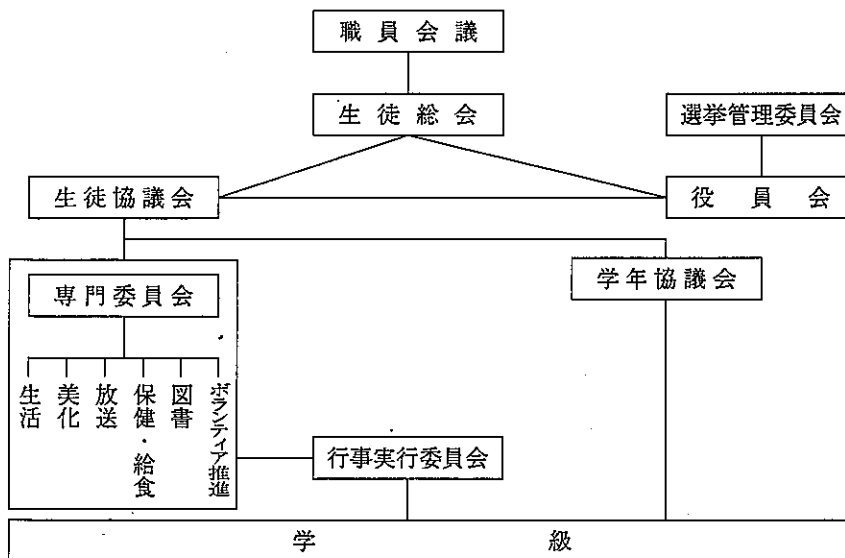
6 生徒在籍数

	7 年			8 年			9 年			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
A 組	15	13	28	16	11	27	15	16	31	男計
B 組	14	14	28	17	10	27	15	16	31	151
C 組	15	13	28	16	11	27	15	16	31	女計
E 組	7	1	8	4	1	5	3	2	5	125
										合計
合計	51	41	92	48	33	86	48	50	98	276

※R2年6月1日現在。

		出身小学校別			
		立会小	鮫浜小	浜川小	その他
7年	男	15	10	11	14
	女	16	6	15	5
8年	男	20	5	14	15
	女	15	4	6	7
9年	男	22	6	9	11
	女	25	10	9	6
合計		42.9	15.6	26.3	15.2
		(%)	(%)	(%)	(%)

7 生徒会組織・部活動



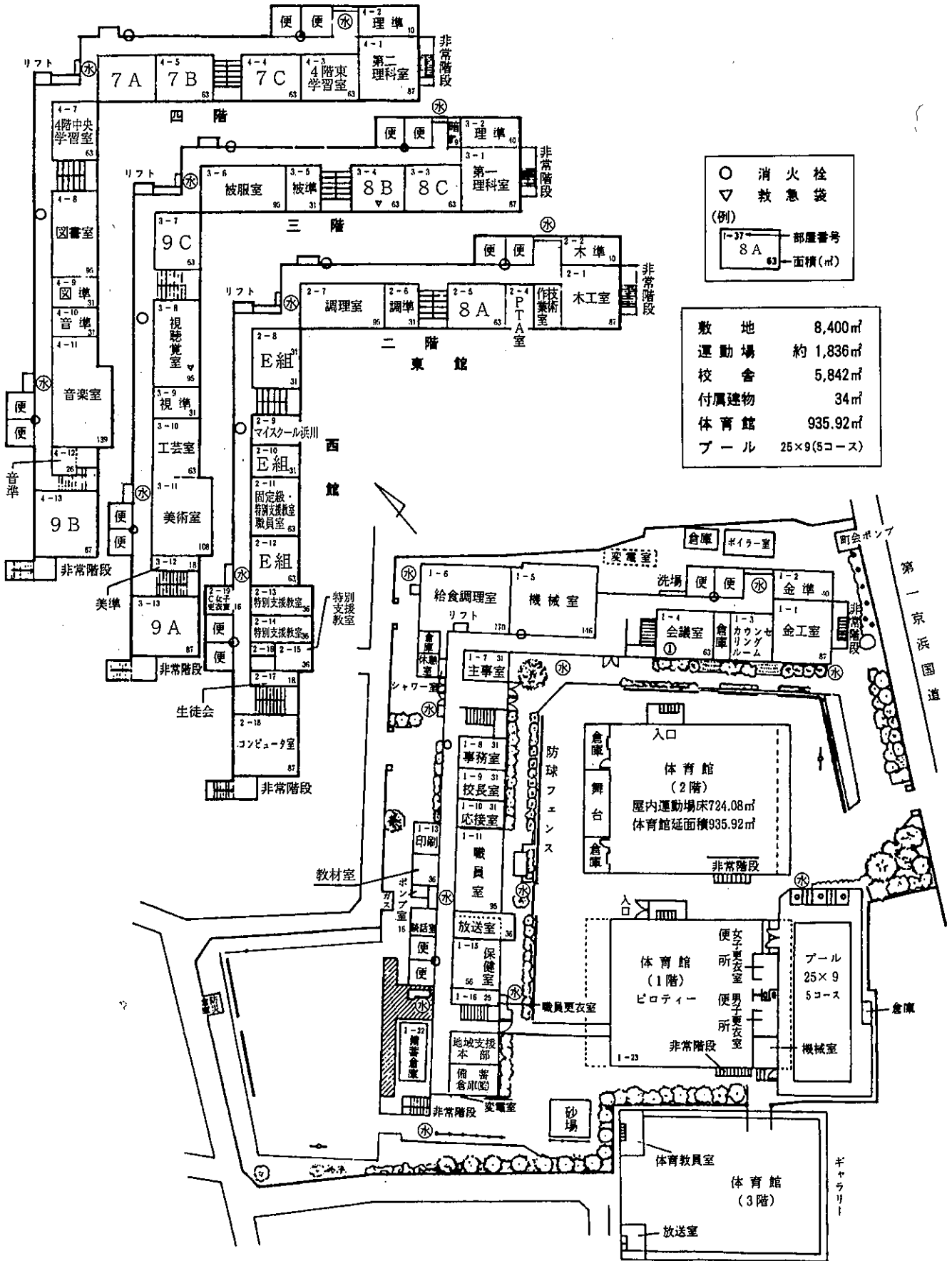
部 活 動
1. バスケットボール
2. ソフトテニス
3. バレーボール
4. マラソン
5. 美術
6. コンピュータ
7. 鉄道研究
8. 音楽
9. 書道
10. 卓球
11. 和太鼓
12. ハンドメイド

8 自閉症・情緒障害特別支援学級（E組）

○学級の教育目標

- ・情緒の安定を図り、豊かな人間関係を育てる。
- ・生活や学習上の困難を克服し、自立や社会参加に向けて努力するたくましさを養う。
- ・基礎学力・基本的生活習慣を身に付け、国際性豊かな社会の形成者として社会に適応できる力を育てる。

9 品川区立浜川中学校平面図



○ 消火栓
▽ 救急袋
(例)
1-37 部屋番号
8 A 面積(m²)

敷地	8,400㎡
運動場	約 1,836㎡
校舎	5,842㎡
付属建物	34㎡
体育館	935.92㎡
プール	25×9(5コース)

入口
体育館
(2階)
屋内運動場床724.08㎡
体育館延面積935.92㎡

入口
体育館
(1階)
ピロティー
非常階段

入口
体育館
(3階)
放送室

浜川中学校校歌

作詞 大木 博夫
作曲 服部 正

一
城南の春の明るさ

かきやく浜川 わが学び舎
ああ われらつとめ励みて
真理の芽生え培はん

眉あげて 眉あげて あこがるる
光の種子よ 若草よ

二

望みある船の行くてに
智慧の帆あげなん 善き船と權
ああ われら心つくして
文化の花を愛しまん

眉あげて 眉あげて あこがるる
珠みつ海よ 軟風よ

三

城南の秋のさやけさ
青空清けし わが友どち
ああ われら徳をみがきて
平和の実り刈り入れん

眉あげて 眉あげて あこがるる
虹たつ天よ 讃め歌よ

